

KG
2018

KG
2018

CLUB SPORTS GUIDE



KANAZAWA GAKUIN

CLUB SPORTS GUIDE

金沢学院大学クラブスポーツガイド

KG 金沢学院大学

KG 金沢学院短期大学

〒920-1392 石川県金沢市末町10 www.kanazawa-gu.ac.jp

入試広報部 TEL.076-229-8833 FAX.076-229-8791 受験生専用 TEL.0120-367-984

テレメール / 資料請求受付 (24時間受付)



自動音声応答電話 <IP電話>050-8601-0101
音声ガイダンスに従って資料番号を入力してください。

インターネット<パソコン・スマホ・ケータイ>
http://telemail.jp

バーコード
読取機能付き
携帯電話なら



資料番号 > 大学案内 > 971508 大学案内・募集要項(願書付) > 971509 ※1~2日程で資料が届きます。

KANAZAWA GAKUIN
CLUB SPORTS GUIDE

金沢学院大学クラブスポーツガイド

CONTENTS

- 03 硬式野球部
- 07 バドミントン部
- 11 ウエイトリフティング部
- 15 サッカー部
- 19 柔道部
- 23 トランポリン部
- 27 ラグビー部
- 31 ソフトボール部
- 35 相撲部
- 39 バスケットボール部
- 43 弓道部
- 47 バレーボール部
- 49 ソフトテニス部
- 51 ゴルフ部
- 52 硬式テニス部
- 53 水泳部
- 54 陸上部
その他運動部・同好会

その一瞬が
キミのチカラだ。



硬式野球部

- 監督 / 角尾 貴宏
- 活動日 / 月～金(14:00～19:00)、土(9:30～17:00)、日(9:00～17:00)、休養日(週一日)
- 活動場所 / 金沢学院大学総合グラウンド、第二屋内練習場
- 部員数 / 119人



年間スケジュール SCHEDULE

- 4 ・北陸大学野球春季リーグ戦
- 5 ・北陸大学野球春季リーグ戦
- 6 ・全日本大学野球選手権大会
・北陸大学野球新人戦
- 7 ・金沢市長杯争奪
石川大学野球定期戦
- 8 ・北陸私立大学野球選手権大会
- 9 ・北陸大学野球秋季リーグ戦
- 10 ・北陸大学野球秋季リーグ戦
・東海・北陸・愛知三連盟王座決定戦
- 11 ・明治神宮野球大会
- 12
- 1
- 2 ・春季強化合宿
- 3 ・強化遠征試合



北陸で優勝11回 全国大会4回出場

1996年に創部し、翌年秋季から北陸大学野球1部に昇格して以来、春、秋の各季リーグ戦で計11回の優勝を重ねている。このうち、2000年秋に明治神宮野球大会に出場したほか、春の全日本大学野球選手権大会に3回出場、10年には2回戦にコマを進めた。

将来、社会で活躍する「ひとづくり」を部の

目的に掲げており、あいさつ、返事、身だしなみなどのマナーの徹底を図っている。

15年には卒業生の長谷川潤選手が読売巨人軍に入団し、本学初のNPBプロ野球選手となった。全員野球を身上としており、北陸制覇、そして全国大会での2勝目に向けて全員が一丸となっている。

BASEBALL



大学野球人の自覚と誇りを持ち切磋琢磨

チームスローガンを毎年掲げており、2015年度は「繋がり」、16年度は「進化」としている。チーム一丸となって、自覚と責任、そして向上心を持って挑もうという狙いだ。東北福祉大学時代に全日本大学野球選手権大会で日本一、社会人野球の西濃運輸時代に都市対抗野球大会で準優勝を経験した角尾貴宏監督の指導方針でもある。

野球を通じて知り合った仲間は一生の宝(財産)であり、その仲間と共に「全国制覇を


達成するにふさわしい組織づくりを進めている。そのためにはまず、部員らが全員、大学野球人としての自覚と誇りを持ち、切磋琢磨することが大事と心得る。これはグラウンドだけにとどまらない。キャンパス内でも他の学生の模範となるべく、部指定の制服を着用し、毎朝、始業前に部員全員が中庭に集まり、点呼を行っている。

創部22年の今年、北陸の地から全国に向けて新たな伝統を創る覚悟だ。

グラウンド
両翼96m・センター122m
の専用グラウンド。オープン
戦もここでを行います。



監督 角尾 貴宏
金沢高、東北福祉大卒。三塁手として甲子園に3度出場。大学3年次には大学日本一、4年次には選手権大会、明治神宮大会ともベスト8。社会人野球の西濃運輸を経て1997年から現職。



コーチ 幡谷 大介
1994年春のセンバツで金沢高校の完全試合達成の際、二塁手として出場。金沢学院大学に進学し、野球部の創設に加わり、西濃運輸を経て2008年から現職。



コーチ 辻 大樹
県立和歌山商業高卒。金沢学院大学に進学し、学生コーチ・主務として全日本大学野球選手権大会に出場。2011年から現職で、学生寮監督も務める。



主な戦績

2015

- 北陸大学春季リーグ戦(4~5月)
>> 1部リーグ 3位(6勝8敗、勝ち点3)
- 北陸大学野球連盟新人大会(7月)
>> 準優勝(決勝:0-5福井工業大学)
- 北陸大学秋季リーグ戦(9~10月)
>> 1部リーグ 優勝(9勝2敗、勝ち点4)
- 東海・北陸・愛知三連盟王座決定戦(10月)
>> 準々決勝(0-3日本大学国際関係学部)

2016

- 北陸大学春季リーグ戦(4~5月)
>> 1部リーグ 2位(8勝3敗、勝ち点4)
- 北陸大学野球連盟新人大会(7月)
>> (2回戦:1-2金沢星稜大学)
- 北陸大学秋季リーグ戦(9~10月)
>> 1部リーグ 2位(8勝4敗、勝ち点4)
- 東海・北陸・愛知三連盟王座決定戦(10月)
>> 準々決勝(1-5日本大学国際関係学部)

2016年度卒業生の主な就職先

経営ビジネス学科 埼玉県警察本部 北川ヒューテック(株) 株式会社ハイテック 株式会社コマー	経営システム学科 石川ミリオンスターズ 株式会社コマー 倉敷商工会議所 富源商事(株)	経営システム学科 株式会社村荷役 株式会社コマインテック 株式会社名古屋トヨタ フルテック(株)	スポーツ健康学科 株式会社スズキ自販和歌山 大阪パネ工業(株) 三菱マテリアル(株) 株式会社東建コーポレーション	スポーツ健康学科 関西西濃(株) 兼松コミュニケーションズ(株) 株式会社インスパイア 石川県教育委員会(講師) サントリービバレッジ(株) 公益財団法人 フィットネス21 株式会社東京ドームスポーツ
--	---	--	---	---

屋内練習場

雨天時、冬期間に使用。4カ所での打撃練習と3人同時に投球練習を行うことが出来ます。



野球部寮

自宅通学以外の野球部員は全寮制となっております。



部員からのメッセージ

1



情熱のある指導者と充実した練習環境整う
野球部専用グラウンドはもちろん、屋内練習場やウエイトトレーニング場など、どんな天候でも野球に打ち込める環境が整っています。朝夕は、提携する食堂で栄養満点の食事、昼は学生食堂のアスリートランチを食べているので、体が大きくなってきました。情熱のある指導者と共に仲間たちと切磋琢磨しながら全国大会での活躍を目標に取り組んでいます。

比嘉 翼

人間健康学部・スポーツ健康学科・2年
群馬県・高崎健康福祉大学高崎高校出身

2



石川から全国へ
高校時代は地元、石川から甲子園を目指していましたが叶えることが出来ませんでした。地元の大学でもう一度、全国の舞台を目指そうと考え、金沢学院大学に入学しました。全国各地から仲間が集い、恵まれた環境のもと、高い意識で練習を行っています。必ず自分達の手で全国大会出場を成し遂げ上位進出を狙います。

池下 裕貴

経営情報学部・経営情報学科・1年
石川県・鶴岡学園高校出身

バドミントン部

- 監督 / 長谷川 進
- 活動日 / 月～金(16:45～21:30)、土(9:00～13:00)、
休養日(日曜日)
- 活動場所 / 第1体育館、第2体育館
- 部員数 / 男38人、女15人(計53人)

金沢学院大学バドミントン部

金沢学院大学バドミントン部



年間スケジュール SCHEDULE

- 4 ・北信越学生バドミントン選手権大会
・石川県団体総合バドミントン選手権大会
- 5 ・中部学生バドミントン選手権大会
- 6
- 7
- 8 ・北信越学生バドミントン選手権大会
・全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会
- 9 ・西日本学生バドミントン選手権大会
- 10 ・全日本学生バドミントン選手権大会
- 11 ・北信越学生バドミントン選手権大会
- 12 ・北信越学生バドミントン新人選手権大会
・北國新聞社杯争奪石川県個人総合バドミントン選手権大会
- 1
- 3



社会人強豪と練習 技術の向上を図る

1998年に男子が強化部として正式に発足、女子は2003年に発足した。男子は2003年の全日本学生バドミントン選手権大会(インカレ)でベスト4入りを果たし、インカレベスト4を計3回、西日本学生バドミントン選手権大会優勝を計5回達成した。

今年は、男子が西日本大会の団体優勝と、

個人戦ダブルスとシングルスでの優勝を狙う。女子は当面、西日本大会上位進出を目標に掲げ、ステップアップを目指す。

社会人バドミントンチームのS/Jリーグに所属する金沢学院クラブと練習をともにすることで、技術の向上を図る。

BADMINTON



「極限への挑戦」をテーマに

バドミントンは個人競技。大学生になった自分「どのようなプレーヤーになりたいのか」を考え、そのためには「どのように考え、どのように行動するのか」を意識することが重要である。

入部してくる部員はインターハイでベスト4クラスに入るレベルの選手は少ない。①心 ②技 ③体 ④ヘッドワークのいずれかがイ

ンターハイ戦績上位者に比べ劣っていることは否めない。しかし、高校時代に全国大会に出場できなかった選手でも頑張れば活躍できることを証明したい。そして、西日本大会やインカレで通用する選手を育てたい。「極限への挑戦」をテーマに、一人一人自らの殻を破って成長し、目標を成し遂げられるよう練習に取り組んでいる。

練習環境

バドミントンコート7面、女子部員が男子部員と合同で練習でき、男子部員はS/Jリーグに参戦している「金沢学院クラブ」の選手と練習に取り組める。



監督
長谷川 進

石川県立大聖寺高、立命館大卒。S/Jリーグの金沢学院クラブ監督、石川県国体成年男子監督、石川県バドミントン協会の常任理事兼ヘッドコーチを務める。



コーチ
茶谷 徳靖

金沢市立工業高、金沢学院大卒。1998年インターハイダブルス3位、同年国体少年の部団体3位。創部時メンバーで2002年全国学生大会団体ベスト8。



コーチ
小林 晃

埼玉栄高、日本体育大卒。2009年インターハイ団体・ダブルス優勝。14年国体成年男子の部団体優勝。現在、金沢学院クラブの現役社会人選手でもある。

主な戦績

2015

- 北信越学生バドミントン選手権大会 >> 優勝
- 中部学生バドミントン選手権大会 >> 団体戦 シングルス ダブルス 優勝
- 西日本学生バドミントン選手権大会 >> 団体戦 準優勝
- 全日本学生バドミントン選手権大会 >> 団体戦 ベスト16 シングルス ベスト8
- 北信越学生バドミントン選手権大会 >> 優勝

2016

- 北信越リーグ >> 優勝
- 中部学生バドミントン選手権大会 >> 団体戦 優勝
- 西日本学生バドミントン選手権大会 >> 団体戦 準優勝 シングルス 優勝
- 全日本学生バドミントン選手権大会 >> 団体戦 ベスト8
- 北信越学生バドミントン選手権大会 >> 優勝

2016年度卒業生の主な就職先

経営システム学科 日本郵便株 スポーツ健康学科 金沢学院高校(常勤講師) 日本郵便株 富山トヨタ 株コヴァノ	スポーツ健康学科 浦田クリニックスクール金沢 株西原商会 株大山どり 山梨県教育委員会 株本堂精工	スポーツ健康学科 株カーブスジャパン 石川県教育委員会 株ヨシケイ石川
--	---	---



MESSAGE 部員からの メッセージ

1



施設と練習環境が
自慢です

シングルスとダブルスのグループに分かれ、部員一人一人がやるべきことを理解して、全体練習後も課題練習を行っています。練習をこなすだけだった高校時代と違って、練習の意味を考え、実戦でどう役に立つのかを考えるようになりました。先輩に追いつけるよう、毎日中身の濃い練習に励んでいます。

寺田 真也

人間健康学部・スポーツ健康学科・1年
栃木県・作新学院高校出身

2



教員免許取得が
可能です。

将来の夢は高校教員です。金沢学院大学は全学部で教員免許取得が可能で、2018年には教育学科、短期大学には幼児教育学科が開校されます。部活動を通して指導いただいた先生方や諸先輩方の教えを生かし、子どもたちの個性を伸ばせるような教員を目指して、日々、目標達成に向けた練習に励んでいます。

横山 文香

人間健康学部・スポーツ健康学科・2年
岐阜県立岐南商業高校出身

ウエイトリフティング部

- 監督/菊田 三代治
- 活動日/月~金(16:45~20:00)、土(9:00~16:30)、
休養日(日曜日)、積極的休養日(木曜日)
- 活動場所/金沢学院高校体育館(1階 ウエイトリフティング場)
- 部員数/男32人、女19人(計51人)



年間スケジュール SCHEDULE

- 4 ・全日本学生個人選手権大会
・新入生歓迎会
- 5 ・全日本選手権大会
- 6
- 7 ・西日本学生選手権大会
- 8
- 9 ・西日本学生新人選手権大会
- 10 ・国民体育大会
・全日本学生新人選手権大会
- 11 ・全日本女子選抜選手権大会
- 12 ・北信越学生個人選手権大会
・全日本大学対抗選手権大会
- 1
- 2
- 3 ・全日本ジュニア選手権大会
・全日本学生選抜大会
・卒業生を送る会

全国屈指の戦績、 東京五輪見据える

WEIGHT LIFTING

ウエイトリフティング部の練習場には、気合のこもった掛け声とウエイトを着脱する金属音が連日鳴り響く。ウエイトを挙げた瞬間の笑顔で人気を集めた八木かなえ選手ら学生、教職員合わせて4人が、このプラットフォームから北京五輪(2008年)、ロンドン五輪(2012年)の晴れ舞台に向かった。また、全日本大学

対抗女子ウエイトリフティング選手権大会では、過去10年で9回の優勝を誇るなど国内外での活躍と戦績は全国屈指である。監督に2005年創部の立役者であり、アテネ五輪で男子監督を務めた菊田三代治氏を迎えた。「金沢から世界を目指せ」を合言葉に、東京五輪出場とメダル獲得に向け鍛錬を積んでいる。





全員の力を結集して個人の記録伸ばす

ウエイトリフティングが好き、探求したい。そんな気持ちを胸に抱いた部員が全国各地から集う。多くの仲間と競い、支え合い、自分と仲間を信じて努力を惜しまないチームワークが看板のクラブである。「底辺なくして頂点あらず」「量に勝る質はなし」などをモットーとし、全員の力を結集してこそ、個人の記録が伸びていくという意識を徹底させている。練習では科学的視点を持って試行錯誤を繰り返

している。

部の六訓には①世界を視野に志を②チャレンジ精神を持って③学ぶ心を持ち前進④正しい判断ができる人間に⑤人に好かれる人間に⑥感謝の心が次の踏み板とある。技術を磨き記録を伸ばすだけでなく、強い精神力と感謝の心を備えるため、「ウエイトリフティングを通して何を学ぶのか」を常に問い続けるよう指導している。

練習環境

練習施設は国内屈指の広さを誇り、80人が同時練習可能な28面プラットフォームを有する。トレーニング機器も完備し、目的に応じて、バランスよく鍛えることができる。



監督
菊田 三代治

2005年創部時から指導し、現在、監督。01年から日本ウエイトリフティング協会の強化に当たり04年アテネオリンピック大会男子監督。現在、日本ウエイトリフティング協会常務理事。



コーチ
阿波 裕子

石川県立飯田高、早稲田大卒。全日本学生選抜選手権大会4連覇。2007年世界学生選手権準優勝。09年本学勤務。同年コーチ就任。



コーチ
河原 祐輔

金沢学院大卒。2011年本学勤務。同年コーチ就任。12年金沢学院高監督就任。16年アジアユースジュニア選手権日本代表団代表コーチ。



ベルトは「誇り」

主な戦績

2015

- 全日本男子大学対抗選手権大会 >> 第4位
- 全日本女子大学対抗選手権大会 >> 優勝
- 西日本男子大学対抗選手権大会 >> 第2位
- 全日本女子選抜選手権大会 >> 優勝

2016

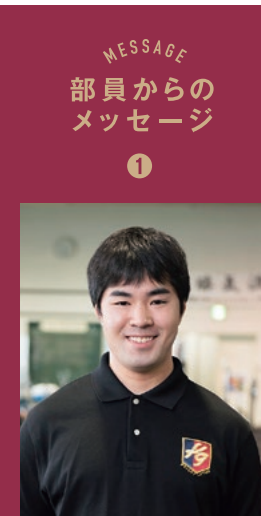
- 全日本女子大学対抗選手権大会 >> 優勝
- 全日本男子大学対抗選手権大会 >> 8位
- 西日本男子大学対抗選手権大会 >> 優勝
- 西日本女子大学対抗選手権大会 >> 優勝(新設)
- 全日本女子選抜選手権大会 >> 優勝

2016年度卒業生の主な就職先

経営ビジネス学科 ヤマツ商会(株)	スポーツ健康学科 みやぎ生活協同組合	スポーツ健康学科 進学(車整備の専門学校)
経営システム学科 (株)サードウェーブ	(株)バーソニック	アウルブラザースカンパニー(株)
メディアデザイン学科 (株)アース	ヤマツ商会(株)	(株)アトム
スポーツ健康学科 ウエルシア薬局(株)	(株)はくがん	自衛隊体育学校
スポーツ健康学科 (株)メガスポーツ	(株)アトラス	
(株)メタルエンジニア	(株)玉林園	



練習前に入念にポイント確認



部員からのメッセージ

高校時代の悔しさバネに勝利を導く存在を目指す
全国大会で入賞することができなかった高校時代の悔しさをバネに練習に打ち込んでいます。現在は全日本男子大学対抗選手権大会での入賞を見据えています。日々の練習も体育教員を目指す勉強も頑張った分だけ自分に返ってくると思います。恩師や仲間のために、チームを勝利に導く存在を目指します。

高木 大河

人間健康学部・スポーツ健康学科・3年金沢学院東高校(現・金沢学院高校)出身



けがをしたことも自分に必要な経験だった

けがをして練習ができなかった時、力になってくれたのは周り。いる大勢の人たちでした。マネージャー業務も経験したことで、周りを見ることの大切さに気づくことができました。将来は健康運動指導士になり、思いやりを大事にしつつ、第一線でアスリートにトレーニングを指導したいです。

新垣 愛恵

人間健康学部・スポーツ健康学科・3年沖縄県立豊見城高校出身



サッカー部

- 監督 / 飯高 登起康
- 活動日 / 月～金 (16:00～19:00) (朝練習の場合あり)、
土・日 (9:00～12:00)、休養日 (公式戦の翌日等1週間に1日)
- 活動場所 / 大学総合グラウンド
- 部員数 / 男41人、女3人 (計44人)



年間スケジュール SCHEDULE

- 4 ・大学リーグ
・石川県選手権
- 5 ・大学リーグ
・石川県選手権
- 6 ・大学リーグ
・石川県選手権
・総理大臣杯
- 7 ・大学リーグ
・石川県選手権
- 8 ・大学リーグ
・石川県選手権
- 9 ・大学リーグ
・石川県選手権
- 10 ・大学リーグ
・石川県選手権
- 11 ・大学リーグ
・石川県選手権
- 12
- 3



北信越1部復帰へ 勝負強い心と体を

FOOTBALL

男女共学の金沢学院大学となった1995年の創部で、2000年には専用グラウンドも整備され、徐々にそして確実に力を付けてきた。15年に石川県選手権でベスト4に入ったのをはじめ、北信越大学サッカーリーグでは、15年から2年間、強豪校が競い合う1部リーグで戦った。その1部復帰が当面の目標だ。

コーチの斎藤将基氏は、ツエーゲン金沢のFWとして活躍し、その後、同チームのU-18コーチを務めていたところを4年前に迎え入れた。社会人になれば、不利な状況を覆す強い心と身体を持ち併せることが大事として、部員は接戦を勝ち切る勝負強さを身に付けるように地道な練習を重ねている。



敗戦の悔しさを胸に勝利へのこだわり

サッカーを通じて人間力を高めることを目標に、石川県内外から選手43人とマネージャー3人が集う。強豪校のレギュラーに見劣りしない運動能力の選手も多く、監督、コーチは選手の長所をさらに引き出す指導を心掛けている。勝利をつかむために何が不足しているのか。勝利をつかみ取るアイデアを出し合い、それぞれが自身の強みを発揮しながら練習に励んでいる。

北信越2部リーグに降格した2017年度は、再び迎えた試練の1年になる。選手たちは、昨シーズンの敗戦続きの悔しさを胸に刻み付け、勝ちへのこだわりを強めてきている。練習では、具体的な課題を取り出し、計画的に振り返ることに努めながら、技術、体力、精神面の強化を図っている。負けてはならない試合には確実に勝利して、1部復帰する日を信じて走り込む。



監督
飯高 登起康

石川県立金沢桜丘高、順天堂大卒。高校では石川国体6位、最優秀選手に選ばれる。JFA公認A級コーチジェネラル、2級審判、2級審判インストラクターを持つ。2004年から金沢学院大学に勤務し、同年監督。



コーチ
斎藤 将基

埼玉県立浦和東高卒、元プロサッカー選手。所属はツエーゲン金沢など。2015年金沢のU-18コーチ就任。13年から本学コーチ。



主な戦績

2015

- 第43回北信越大学サッカーリーグ1部 >> 7位
- 総理大臣杯北信越大会 >> ベスト8
- 石川県選手権 >> ベスト8

2016

- 第44回北信越大学サッカーリーグ1部 >> 8位
- 総理大臣杯北信越大会 >> ベスト8
- 石川県選手権 >> ベスト8

2016年度卒業生の主な就職先

- | | | |
|--|---|--------------------|
| 歴史学専攻 スポーツクラブリオベードラ加賀
経営システム学科 株式会社木谷商店
スポーツ健康学科 株式会社北陸マツダ | スポーツ健康学科 株式会社チューエツ
セントラルメディカル株式会社
かんぼ生命株式会社 | スポーツ健康学科 北日本物産株式会社 |
|--|---|--------------------|



MESSAGE 部員からの メッセージ



チームの支えにやりがい、栄養学の知識と技術習得。

スケジュール管理や大会参加のための準備など、主務の仕事は幅広く、チームを支えることにやりがいを感じています。昨年に増して一層チームの連携を回り、練習に打ち込んでいます。将来の夢は管理栄養士です。米国では先進的な栄養学の研究が進んでいるので、留学してより高度な知識や技術を習得したい。

山際 倫太郎

人間健康学部・健康栄養学科・2年
新潟明訓高校出身

VOICE マネージャーの つぶやき



Twitterで活動を発信 英語力生かした就職を

選手の水分補給を助け、試合の記録をつけるなどのサポートだけではなく、部のTwitterを立ち上げ、練習やイベントを日々更新して学外への発信も行っています。TOEICやTOEFLで高得点を取るため英語学習に力を入れており、外資系航空会社の客室乗務員を目指して、大学就職支援センターを利用して就職活動中です。

松田 果奈

文学部・国際文化学科英語専攻
(現・文学科英米文学専攻)・4年
富山県立水橋高校出身

- 監督 渡辺 直勇、渡辺 涼子
- 活動日 月～金(16:30～19:00)、土(9:30～12:00)、
休養日(日曜日)
- 活動場所 第二体育館1階柔道場
- 部員数 男28人、女17人(計45人)



年間スケジュール SCHEDULE

- 4 強化合宿
- 5 北信越学生柔道優勝大会、
全日本ジュニア選手権大会
石川県予選
- 6 全日本学生柔道優勝大会
- 7 国体県予選
全日本ジュニア選手権大会
北信越予選
- 8 北信越国体、強化合宿
- 9 北信越学生柔道体重別
選手権大会
全日本ジュニア選手権大会
- 10 全日本学生柔道体重別選手権大会
全日本学生柔道体重別団体優勝大会
国民体育大会
- 11 講道館杯全日本柔道体重別
選手権大会
全国学生体重別選手権大会
- 12 寒稽古
- 1 石川県選手権
強化合宿
- 2 北信越選手権
強化合宿
- 3



北信越学生で常勝 強さはぶれない心

1993年に女子、95年に男子が創部した。北信越学生柔道優勝大会では女子が現在、団体7連覇中であり、男子は2013年まで団体17連覇を飾った。女子は、全日本学生大会の団体で13年に3位、14年には個人で優勝と3位に入るなどの活躍も見せている。

指導するのは、女子はバルセロナ五輪日本

代表の渡辺涼子氏。渡辺氏は現在、金沢学院大学人間健康学部教授であり、16年からは全日本柔道連盟で強化副委員長(女子)を務めている。男子は1989年の全日本柔道選手権大会3位だった同学部准教授の渡辺直勇氏。2017年度のテーマは「自律」。ぶれない心を持って、チームの勝利につなげる。



あいさつ、言葉遣いなど人間教育を主眼に

2013年世界選手権でOGの橋本優貴選手が団体戦優勝、個人3位となった。卒業後も出身選手たちが柔道界で活躍している。

指導の主眼としているのは、「柔道を通じた人間教育」である。あいさつ、言葉遣い、目上の人を敬うことなど、当たり前を日常の中でできるよう指導している。試合の勝ち負け以上に重要なのは、勝利に結びつける過程。自らを律し、行動に移す「計画性」や「準備力」は、

勝つためには欠かせない要素である。厳しい練習を乗り越え、目標を達成した選手は、充実感であふれている。

全日本学生柔道体重別団体優勝大会での上位入賞、全日本学生柔道体重別選手権大会の個人優勝を目指し、今後も精進を重ねていく。2020年の東京オリンピックや世界選手権など、国際舞台を目標に選手の育成に当たることも今後の課題の一つである。

柔道場

第二体育館1階にあり、
広さ572㎡。畳264枚が敷かれている。



監督(男子)
渡辺 直勇

旭川龍谷高、筑波大、同大学院卒。1989年全日本柔道選手権大会3位。金沢学院東高校(現・金沢学院高校)に勤めながら、95年創部時より監督として指導を行う。2011年より本学勤務。



監督(女子)
渡辺 涼子

岡山県立児島高(現・倉敷鷺羽高)、筑波大卒。同大学院修了。バルセロナ五輪出場。1986年、91年世界柔道選手権3位。92年監督就任。2012年から全日本女子柔道ヘッドコーチ。現在は、全日本柔道連盟強化副委員長。



主な戦績

2015

- 北信越学生柔道優勝大会
>> 団体(男子2位、女子1位)
- 北信越学生柔道体重別選手権大会
>> 男女 6階級1位
- ポーランドジュニア大会
>> 70kg 橋高朱里 1位
- チューリングン国際大会
>> 70kg 橋高朱里 1位

2016

- 北信越学生柔道優勝大会
>> 団体(男子2位、女子1位)
- 北信越学生柔道体重別選手権大会
>> 男女 9階級1位
- 北信越学生柔道体重別団体優勝大会
>> 団体(男女1位)
- 全日本学生柔道体重別団体優勝大会
>> 女子 ベスト8
- 講道館杯全日本柔道体重別選手権大会
>> 52kg 柳光真麻 7位

2016年度卒業生の主な就職先

経営ビジネス学科 (株)西原商会 (株)本久 (株)セオリー スポーツ健康学科 岐阜県教育委員会(中学講師)	スポーツ健康学科 (株)テイクアンドグヴ・ニーズ 総合警備保障(株) 総合警備保障(株) 総合警備保障(株)	スポーツ健康学科 岡山県教育委員会 北海道警察本部 (株)ツカサ 岐阜県教育委員会(講師)
---	---	--



MESSAGE 部員からの メッセージ

1



頼れる存在の監督、先輩
貢献できる選手を目指す

本学の柔道場は広くて練習しやすく、先生から細かな指導を受けることができます。親身になって相談に乗ってくれる監督や先輩はとても頼れる存在です。自分の行動に責任を持って取り組み、技を磨き、チームに貢献できる選手を目指します。将来は警察官が教員になって、柔道の経験を生かしたいと思います。

渡辺 心実

人間健康学部・スポーツ健康学科・2年
東京・渋谷教育学園渋谷高校出身

2



厳しい練習を乗り越えて
盤石の態勢で試合に臨む

厳しい練習を一致団結して乗り越える結束力が部の魅力です。試合で勝つために改善できる点はまだまだたくさんありますが、仲間とともに乗り越え、盤石の態勢で試合に臨みたいです。柔道を続けてきて身に付けた粘り強さは、努力と執念の賜物です。あきらめない力は経済学の勉強にも役立っています。

黒崎 皓介

経営情報学部・経営情報学科・2年
北海道・旭川龍谷高校出身

トランポリン部

- 監督 / 福井 卓也、丸山 章子
- 活動日 / 月～金 (16:30～20:00)、土 (9:00～13:00)、休養日 (日曜日)
- 活動場所 / 第2体育館2階
- 部員数 / 男12人、女8人 (計20人)



年間スケジュール SCHEDULE

- 4 ・部会、新入生歓迎会
- 5 ・全日本年齢別大会
- 6
- 7 ・北國杯 (学生主催大会)
- 8 ・全日本学生選手権 (インカレ)
- 9 ・西日本選手権
- 10 ・全日本選手権
- 11 ・世界選手権
- 12 ・川崎JAPAN OPEN
- 1 ・新年会
- 2 ・都道府県対抗大会
- 3 ・送別会、クラブ合宿

創部20周年の伝統 五輪に4選手輩出

2016年に創部20周年を迎えた。2012年ロンドン五輪の日本代表選手に男女とも本学の学生を輩出した。2000年シドニー五輪でも教職員2人が男女の日本代表に選出されている。また、ワールドカップ世界選手権など各種国際大会にも多数の選手を送り出しており、国際舞台での輝かしい戦績を学園史に刻

んでいる。

もとより国内では、日本で最も権威のある全日本選手権団体で男女優勝、個人も優勝を果たすなどトップの成績を収めてきた。シドニー五輪、ロンドン五輪で選手や代表監督として活躍してきた男女の各指導者のもと、世界に通用する選手の育成に取り組む。





競技普及を使命に人間力ある指導者育成

クラブのモットーは、スポーツ精神を身に付け、競技力向上に努めること。トランポリンは個人競技ではあるが、チーム一丸となって目標を達成していく。

競技としての歴史はまだ浅く、競技人口も少ないため、日本でいかに普及させていくかがトップを走る自分たちの使命と自負している。幸い本学には全国から優秀な選手が集うようになっており、彼らが本学で成長し、

将来それぞれの地元に帰って選手の育成を担えるように育てていくことが具体的な普及策ととらえている。

部活動を通じて目標に到達する喜びを感じ、人間力を身に付けて卒業できるよう指導している。伝統の中で培ってきた強くなるためのコーチングをこれかれも大切にし、良い選手が本学から世界へと飛ばたくよう、後押しを続けていく。

練習環境

第二体育館の2階アリーナに、トランポリン台6台を有する国内最大規模の練習施設を構えるほか、1階のトレーニングセンターに取り揃えられた各種器具も活用している。



監督
福井 卓也

日本体育大学荏原高、日本体育大卒、同大学院修了。日本体育学会、日本スポーツ方法学会所属。全日本選手権で5回の優勝経験を持つ。1995年より本学勤務。同年、男子監督就任。



監督
丸山 章子

石川県立金沢二水高、金沢大卒。同大学院修了。1990年から全日本選手権9連覇、2000年シドニー五輪6位など数々の記録を持つ。(公財)日本体操協会トランポリン女子強化本部長。03年本学勤務。同年、女子監督就任。

主な戦績

2015

- 全日本学生選手権
>> 岸大貴 3冠優勝
- 全日本学生選手権
>> 宇山芽紅、栗木優香 シンクロ優勝
- 全日本学生選手権
>> 男子団体優勝
- 全日本選手権
>> 男女アベック団体優勝

2016

- 全日本学生選手権
>> 男女アベック団体優勝
- 全日本選手権
>> 女子団体優勝

2016年度卒業生の主な就職先

スポーツ健康学科 (株)ピポンス | スポーツ健康学科 学校法人浄円学園舎人幼稚園 | スポーツ健康学科 (株)スズキ自販北陸



MESSAGE 部員からの メッセージ



全国随一の環境で挑む
目指すはインカレ優勝

オリンピック出場経験のあるコーチや先輩がいる世界レベルのチームで切磋琢磨しています。目標は全日本学生選手権の団体でのアベック優勝、個人では日本体操協会のAランク強化指定選手に選ばれることです。将来は体育の教員になって、運動の楽しさを次の世代に伝えていきたいと思っています。

安田 ゆうき

人間健康学部・スポーツ健康学科・2年
金沢学院東高校(現・金沢学院高校)出身

VOICE

マネージャーの
つぶやき



多方面から選手を支え
勝利への道を切り開く

マネージャーとして選手のコンディションや練習環境の整備に気を配っています。選手のスケジュール管理は、競技成績に直接影響することも多く、細やかな配慮を必要とします。至らない点はまだまだありますが、日本トップクラスのチームのマネージャーとして頼られる存在となるよう頑張っています。

岡田 浩武

経営情報学部・経営情報学科・1年
石川県・小松大谷高校出身



ラグビー部

- 監督/野村 倫成
- 活動日/火~金(16:50~19:00)、土(9:00~12:30)、日(9:30~12:00)、休養日(月曜日)
- 活動場所/天池グラウンド
- 部員数/男34人、女1人、スタッフ6人(計41人)



年間スケジュール SCHEDULE

- 4 ・東海学生連盟セブンス
- 5 ・春季オープン戦
- 6 ・春季オープン戦
- 7 ・春季オープン戦
- 8 ・夏季強化合宿(長野県菅平高原)
- 9 ・東海学生リーグ戦
- 10 ・東海学生リーグ戦
- 11 ・東海学生リーグ戦
- 12 ・強化Tr月間
- 1 ・強化Tr月間
- 2 ・強化Tr月間
- 3 ・春季オープン戦

東海リーグに挑戦 夢は大学選手権出場

2012年の創部。15年に東海学生リーグのCリーグで全勝優勝しBリーグへ、16年にはBリーグ2位で挑んだ入れ替え戦に勝って翌年A2リーグに昇格した。年を追って所属リーグをステップアップさせており、全国大学ラグビー界でも屈指の勢いを見せている。

創部の翌年、日本航空高校石川をコーチと

して8年連続で全国高校ラグビー選手権に導いた野村倫成氏を監督に招聘し、北陸学生リーグ2連覇を経て、強豪校がひしめく東海学生リーグに移った。今後は、練習環境の整備をさらに進め、そのA1リーグで優勝して地区対抗決定戦も勝ち抜き、「北陸から大学選手権出場」という夢の実現へ突き進む。





「挑戦なくして成長なし」、より高みを目指す

東海学生リーグに新規加盟した理由は、チームの合言葉「挑戦なくして成長なし」を実践するためであった。より高いレベルで上を目指すことで、学生一人一人の成長が期待されている。

今年のチームスローガンは「ALL GRIT(勇気、闘志)」。しかし、部員のフィジカル(身体)面の強さは他の有力校にまだまだ及ばない。このため、本学のトレーニングセンターを積極

的に利用する一方、リオ五輪ラグビー(7人制)男子日本代表チームでコーチを務めた見山範泰氏から筋力トレーニング法、管理栄養士の職員から栄養指導を受けている。

ラグビーは常にチームのために自分に何が求められ、何をなすべきかの判断を迫られる競技である。チームを社会、会社に置き換えて「何が」「何を」を考えることができる人材を社会に送り出すよう努めている。

練習環境

大学から車で数分の場所にグラウンドがあり、雨や雪などでグラウンド練習ができない場合は、ウエイトトレーニング場や屋内練習場で汗を流しています。



監督
野村 倫成

石川県立鶴来高、国際武道大卒、同大学院修了。日本航空石川高校コーチ、日本ラグビー協会北信越ブロックU-17監督などを務め、2013年から本学監督。



コーチ
岡田 昇馬

神戸市立須磨翔風高、天理大卒。2016年から金沢学院大学就職支援センターに勤務し、部員の就職指導も担っている。



コーチ
谷口 佳隆

日本航空第二高、明治学院大卒。高校時代チームを全国ベスト16に導き、大学ラグビー部ではキャプテンを務め、2013年から現職。

主な戦績

2015

■ 東海学生ラグビーCリーグ
>> 全勝優勝 Bリーグ昇格

2016

■ 東海学生ラグビーBリーグ
>> 入れ替え戦勝利 A2リーグ昇格

2016年度卒業生の主な就職先

経営ビジネス学科 ホンザキ北信越㈱	スポーツ健康学科 北陸スバル自動車㈱	スポーツ健康学科 新潟総合警備保障㈱
スポーツ健康学科 ホクシン工業㈱	総合警備保障㈱	食物栄養学科 日本海給食㈱



ウエイトトレーニング施設

ラグビーは、力を抑制せず相手に直接接触する形式の「フルコンタクトスポーツ」であり、身体面の強さが勝敗に大きく影響します。金沢学院大学はウエイトトレーニング施設を完備しており、ウエイトラック計8台をはじめエアロバイク、専用の筋レマシーンなど充実した器械が並んでいます。無駄なく身体を鍛え上げる環境が整っているのです。加えて、ラグビー7人制日本代表でも活躍したストレングスコーチの指導により、目標達成のための的確なトレーニング指導を受けることができます。



コーチ
見山 範泰

見山範泰コーチは、2016年リオデジャネイロ五輪ラグビー(7人制)男子で4位に入った日本代表を体作りの面から支えた経験を持つ。筋肉量の増加がチーム力の強化につながると説き、運動、栄養、休息の三つをバランス良く取ることが必要と強調する。

ウエイトトレーニングは、限界ぎりぎりの重さを体感して脳に刺激を与える必要があるとし、「オリンピック選手も学生もポイントは同じであり、限界への挑戦を支える」と意欲をみせている。

MESSAGE 部員からの メッセージ

1



チャレンジ精神が大事 将来は地元で公務員に

高校時代は強豪チームではなかったのですが、よりレベルの高いチームでラグビーをしたいと考え、本学に入学しました。仲間と協力し、チャレンジ精神を大事にしながら活動しています。大学卒業後は地元の新潟県に戻って、地域に恩返しをしたい。そのためにKGC講座を受講し、公務員試験対策に取り組んでいます。

上田 颯真

経営情報学部・経営ビジネス学科・3年
新潟県・北越高校出身

2



身体計測データに基づき 体づくりのトレーニング

東海学生リーグの中では決して体格が優れたチームではないので、パフォーマンスに大きく影響するフィジカル面の強さを磨くために、定期的に身体を計測しています。体成分や栄養状態など身体のバランスを数値化したデータに基づき、それぞれのトレーニング内容を見直して体づくりに取り組んでいます。

湯本 大介

人間健康学部・スポーツ健康学科・1年
新潟県立高田高校出身

ソフトボール部

- 監督/森田 一雄
- 活動日/月~金(16:30~20:00)、土・日(9:00~16:00)、休養日(適宜)
- 活動場所/大学内グラウンド(簡易ソフトボール場)
- 部員数/女25人



年間スケジュール
SCHEDULE

4	・全日本総合女子ソフトボール選手権大会 石川県予選
5	・全日本大学男女ソフトボール選手権(インカレ)大会 北信越予選
6	・全日本総合女子ソフトボール選手権大会 北信越予選
7	・北信越大学男女オープン大会
8	・東日本大学ソフトボール選手権大会 ・HAKUBA CUP大学女子ソフトボール大会
9	・全日本大学男女ソフトボール選手権(インカレ)大会
10	・北信越大学男女新人ソフトボール選手権大会
11	
2	
3	・阪神学生女子オープン大会



部員3名からスタート 全国上位食い込み期待

2009年に創部し、部員数3名で練習するところからスタートしたチームである。徐々に部員が増え、厳しい練習を積むことで、全日本総合女子ソフトボール選手権大会予選、全日本インカレ予選で勝利を重ね、予選を通過する実力を蓄えてきた。北信越新人戦では、2012年から2015年まで4連覇を達成するな

ど着実に成長を遂げている。全日本インカレ、東日本インカレでは連続してベスト16入りを果たしており、常に全国レベルで上位に食い込む力を付けていくことが期待される。部活動を通して、社会に巣立つ最後のステージとして、何事もあきらめない粘り強い精神力を育てていく。





失敗や挫折から学び、粘り強く努力続ける

人生に回り道やムダはつきものである。苦勞が人間力を高めるのである。そのためにも、粘り強く努力を続けることが大切である。自ら計画を立て、実行し、反省を踏まえて次の計画を立て進んで行けるチームづくりを目指す。高校時代に習得した経験を基に、全日本インカレ上位進出に向けて自ら目標を設定して課題克服に立ち向かう強さが求められる。

入部後、選手は使用球が高校時代のゴム

ボールから革ボールに変わることによって技術的な壁にぶつかる。そんな障害を取り除けるよう指導助言が与えられる。練習や試合を通じて、失敗や挫折からいろいろな学びを得て、他人の気持ちに思いをめぐらすことができる学生に成長することが願いである。高校で成果が得られた人にはさらなる上積み、高校で忘れ物をした人には大学生活で取り戻し、自分のものとするよう期待されている。



監督
森田 一雄

滋賀県立膳所高卒、大阪教育大教育学部保健体育学科卒、同大教育学部専攻科修了。滋賀県内の高校にて教諭を務めた後、本学勤務。創部以来、監督を務める。

練習環境

女子の国際大会基準を満たしたソフトボールコートを用意しています。高校野球部が主に使用する室内練習場を使用し、午前7時から朝練習が可能で、筋力強化の時間に充てています。



主な戦績

2015

- 全日本総合女子ソフトボール選手権大会
北信越選手権大会
≫ 北信越予選 出場
- 東日本大学ソフトボール選手権大会
≫ ベスト16
- HAKUBA CUP大学女子ソフトボール大会
≫ 第3位
- 全日本大学男女ソフトボール選手権大会
≫ ベスト16
- 北信越大学男女新人ソフトボール選手権大会
≫ 優勝

2016

- 全日本総合女子ソフトボール選手権大会
北信越選手権大会
≫ 北信越予選 出場
- 東日本大学ソフトボール選手権大会
≫ 出場
- HAKUBA CUP大学女子ソフトボール大会
≫ 第3位
- 全日本大学男女ソフトボール選手権大会
≫ ベスト16
- 北信越大学男女新人ソフトボール選手権大会
≫ 第2位

2016年度卒業生の主な就職先

スポーツ健康学科 ウエルシアHD(株)
大阪府警察本部
日本青年館

スポーツ健康学科 陸上自衛隊
(横)アパグループ
滋賀県教育委員会(講師)

食物栄養学科 (株)エイム



MESSAGE 部員からの メッセージ

①



支えてくれた人たちに
プレーで恩返しをしたい

今の技術ではインカレの常勝チームには勝てないため、毎日のトレーニングや基礎練習を大切にしながらレベルアップを目指しています。「グラウンドを大切にす」という初心を忘れず、たくさんの方々に支えられてソフトボールが出来ていることに感謝してプレーすることを心がけています。

氏丸 陽南

人間健康学部・スポーツ健康学科・1年
兵庫県・園田学園高校出身

②



円滑に物事を進める
大切さを学びました

主務の立場で、チームや選手の様子に気を配っています。選手が気付かないところを指摘し、チームが良くなるように努めています。宿泊手配や事務作業に優先順位を決めることで円滑に物事を進める力を身に付けることができました。選手が気持ちよくプレーできるよう、これからも全力で取り組みます。

豊野 はるか

人間健康学部・スポーツ健康学科・3年
福井県立敦賀高校出身

相撲部

- 監督 / 山上 慈明
- 活動日 / 月～金(16:30～18:30)、土(9:00～12:00)、
休養日(週休1日)
- 活動場所 / 金沢学院大学・金沢学院高校相撲場
- 部員数 / 7人



年間スケジュール SCHEDULE

- 4 全日本大学選抜相撲
宇和島大会
- 5 全国選抜大学・実業団
対抗相撲和歌山大会
- 6 西日本学生相撲
選手権大会
- 7 全日本大学選抜相撲
金沢大会
- 8 全日本大学選抜相撲
十和田大会
- 9 全国学生相撲
個人体重別選手権大会
- 10 石川県相撲選手権大会
- 11 全国学生相撲選手権大会
- 12 全日本相撲選手権大会
- 1 3



西日本選手権初V 強豪としのぎ削る

2002年に創部、西日本学生相撲連盟に加盟して以降、着実に実績を積み、近年は全国で最上位のAクラスに位置する。

昨年は団体で西日本学生選手権を初めて制覇し、全日本大学選抜金沢大会の団体でも初の3位に入った。中でも中村友哉(現 炎鵬、宮城野部屋)は166センチ、88キロの小柄なが

ら西日本学生選手権で個人優勝を飾っている。

指導者は、全日本相撲選手権3位の実績を持つ山上慈明監督。恵まれた練習環境のもと、部員個々の体格、体質や性格に合った練習法で選手の力を最大限に発揮させ、全国の強豪校としのぎを削っている。



伝統校の上位独占に地方から風穴を

東京、大阪など大都市圏の伝統校が全国大会で上位を独占してきた学生相撲界にあって近年、頭角を現してきた。伝統校の選手の大半が実は地方出身であり、それならば地方の大学でも従来の実力校に伍して戦えるはずと、目下の目標に掲げているのは、全国学生選手権で初の団体優勝を果たし、伝統校の壁に風穴を開けることである。

部員は現在、7人と多くないが、附属高校

の金沢学院高校相撲部と合同で稽古に励んでおり、中身は濃い。室内練習場には土俵が2面あり、専用のシャワー室、乾燥室も備わるなど施設・設備は充実している。

部活動はあくまで社会で働くための修練の場と位置付けている。このため、親や周囲の支えに感謝し、敬う気持ちと態度を常に心掛けるよう求めており、それが指導の基本となっている。



監督
山上 慈明

金沢学院東高(現・金沢学院高)、日本大卒。2002年本学勤務。創部時のコーチとして指導ののち監督に就任。学院高校相撲部コーチも務める。



コーチ
徳田 哲雄

金沢学院東高(現・金沢学院高)、拓殖大卒。2003年から12年まで西南部中学外部コーチを務め、12年から本学コーチ。



主な戦績

2015

- 全日本大学選抜相撲宇和島大会
≫ 団体ベスト8
- 全国選抜大学・社会人対抗相撲九州大会
≫ ベスト8
- 西日本学生相撲選手権大会
≫ 団体準優勝
- 全日本大学選抜相撲金沢大会
≫ 団体ベスト8
- 石川県相撲選手権大会
≫ 団体優勝

2016

- 全日本大学選抜相撲宇和島大会
≫ 団体ベスト8
- 全国大学選抜相撲宇佐大会
≫ 団体ベスト8
- 西日本学生相撲選手権大会
≫ 団体優勝
- 全日本大学選抜相撲金沢大会
≫ 団体3位
- 石川県相撲選手権大会
≫ 団体優勝

2016年度卒業生の主な就職先

経営システム学科 玉田工業(株)	スポーツ健康学科 日本相撲協会	スポーツ健康学科 福井県庁(臨時職員)
スポーツ健康学科 若松梱包運輸倉庫(株)	日本相撲協会	



相撲練習場

アマチュア相撲界でもトップクラスの設備を備えた道場を有しています。相撲場単独でトイレやシャワー室はもちろん乾燥室までを備え、毎日廻しやタオル等の乾燥を行うため、常に衛生的な環境で練習を行います。そのほか、怪我のケアのための製氷機や熱中症予防の対策も万全です。

MESSAGE 部員からの メッセージ



礼儀作法もきちんと学び 選手一丸で部活動を支える

仲間同士で話し合い、試合に出ないメンバーもサポートに回るなど、選手一丸となって部活動を支えています。学年を問わず全員の仲が良く、明るい雰囲気ของทีมですが、挨拶や気配りなど人として大事な礼儀作法もきちんと学んでいます。1回1回の稽古に集中し、歴代の先輩方に続く成績を残したいと思っています。

宮下 和也

経営情報学部・経営ビジネス学科・4年
金沢学院東高校(現・金沢学院高校)出身

VOICE マネージャーの つぶやき



チームワーク向上に努力 合同稽古で後輩の育成も

洗濯、秘伝のちゃんこ作り、選手のフィジカル面やメンタル面のケア、チームワーク向上を図るための声掛けなどに取り組んでいます。中学生、高校生と合同で稽古を行っているので、後輩の育成にも力を入れています。卒業後は製造業の会社で働きたい。部活で学んだ責任感を生かして開発や設計に携わります。

槻 一樹

経営情報学部・経営システム学科・4年
金沢学院東高校(現・金沢学院高校)出身

バスケットボール部

- 監督 / 小林 淳一
- 活動日 / 火・木・金※ (16:30~20:00)、日 (9:00~11:00)
休養日 (活動日以外) ※女子のみ金曜日も活動
- 活動場所 / 第一体育館
- 部員数 / 男9人、女16人 (計25人)



年間スケジュール SCHEDULE

- 4 ・近県大会 (新潟県)
- 5 ・笹本杯争奪北信越大学
バスケットボール春季リーグ戦
- 6 ・西日本学生選手権
・ALL JAPAN 予選
- 7 ・石川県リーグ
- 8 ・石川県リーグ
・石川県会長杯
・ひまわり交歓会 (ミニバス大会支援)
・ダイヤモンドサマーキャンプ
(中学生大会支援)
- 9 ・石川県リーグ
・石川県会長杯
- 10 ・インカレ予選
- 11
- 12 ・金沢市ウインターカップ
- 1
- 2 ・安田杯争奪北信越大学
バスケットボール選手権大会
- 3 ・安田杯争奪北信越大学
バスケットボール選手権大会



新たな時代の スタイルで旋風を

BASKETBALL

練習を重ねてリーグ戦で活躍するとともに、文武両道と社会貢献を部活動のモットーに掲げている。バスケットボールのプレーの上達だけでなく、学業に励み、資格を取得し、人の役に立ち、丈夫な体をつくり、進路を選択し、そして笑顔で卒業する。部員はこうした目標に向けて、日々学生生活を送る。

バスケットボールの世界では、技術が日々進歩している。個人技も戦術も盛んに研究され、年々飛躍的に向上・多様化している。一方で、基礎、基本、信念や身体能力など不易の部分も疎かにはできない。先輩から受け継いだ教えを大切にしながら、努力とチームワークと新時代のスタイルで全国に旋風を巻き起こす。



チームの方向性決め行動、指導者育成にも力

コートの中でも外でも互いに支え合い、オフenseでもディフェンスでも協力し合い、スタメンもベンチも一丸となって勝利を目指す。北信越リーグ1部に昇格し、毎年インカレ出場をかけて戦えるチームになることが、現在の目標である。

監督、コーチ、選手、主務が率直に意見を出し合い、チームの方向性を決め、一人一人が主体的に目標達成のために行動できるこ

とが強みである。保護者や教職員の温かい声援、期待に対して応え続けることのできるチームでありたいと努力を重ねる。

全国から集まった部員が、卒業後はそれぞれの故郷に戻り、金沢学院大学で学んだバスケットボールを普及するという将来像を描く。そのために教員免許やコーチ・審判ライセンスの取得も推奨し、将来の指導者となるべく人材育成も積極的に取り組んでいる。

練習環境

男女とも実績十分のコーチ陣。高大連携の一環として金沢学院高校と合同練習・練習試合を頻繁に行っている。

監督
小林 淳一

上越教育大大学院(修士)修了、兵庫教育大学連合大学院(博士)修了。石川県大学バスケットボール連盟理事長・石川県バスケットボール協会理事・北信越大学バスケットボール連盟理事。

コーチ(女子)
小林 正三

石川県立金沢西高、日本体育大卒。石川県バスケットボール協会副理事長。金沢西高を全国ベスト8に導くなど高校での競技指導歴は32年間に及ぶ。

コーチ(男子)
北村 欣也

京都洛南高、順天堂大卒。インターハイベスト4、ウインターカップ3位。全日本クラブ選手権1位(石川ブルースパークス)。

主な戦績

2015

- 北信越春季リーグ
>> 男子3部 A3位、女子3部A2位
- 石川県リーグ
>> 男子2部8位
- 北陸三県私立短期大学体育大会
>> 女子優勝
- 石川県会長杯
>> 女子優勝
- 石川県総合選手権
>> 女子3位
- 石川県学生選手権
>> 男子4位、女子準優勝

2016

- 北信越春季リーグ
>> 男子3部A3位、女子3部A優勝、2部昇格
- 石川県リーグ
>> 女子1部5位
- 北陸三県私立短期大学体育大会
>> 男子優勝、女子準優勝
- 石川県総合選手権
>> 女子3位
- 石川県学生選手権
>> 女子準優勝
- 石川県学生選手権
>> 女子4位

2016年度卒業生の主な就職先

経営システム学科 ニューハウス工業(株) | スポーツ健康学科 (株)エラン | スポーツ健康学科 上越教育大大学院進学
歴史文化学科 上越教育大大学院進学 | (株)電陽社



MESSAGE 部員からの メッセージ



個人の得意技を発揮できる
チームワークが自慢

シュートやリバウンドなど各自が得意とするプレーを最大限に発揮できるチームワークが自慢です。周囲の刺激を受けてプレーに磨きをかけることで、日々の練習は充実しています。公務員を目指し、勉強と部活の両立を図るため、どちらも限られた時間に集中して取り組むよう努めています。

平松 未瑠

人間健康学部・スポーツ健康学科3年
石川県立金沢西高校出身

VOICE

マネージャーの つぶやき



自ら進んで行動することを心がけています

選手にはコンディション作りに集中して欲しいと思っています。選手自身が気付かない体調の変化に気付くことや、コート整備、試合の申請、遠征時のバス・ホテルの手配など緑の下の力持ちになれるように心掛けています。先のことを考えて生活するおかげで、何事にも自ら進んで行動できるようになりました。

館野 滯

文学部・文学科2年
金沢学院東高校(現・金沢学院高校)出身

弓道部

- 監督/中島 彰史
- 活動日/月・火・木・金(17:00~19:00)、土(9:00~12:00)、
休養日(水・日曜日)
- 活動場所/学内弓道場
- 部員数/男11人、女11人(計22人)



年間スケジュール SCHEDULE

- 4 ・弓道場開設記念射会
- 5 ・春季県内大学定期対抗戦
- 6 ・インカレ個人戦北信越地区予選会
・全国大学弓道選抜大会
- 7 ・部内班対抗弓人選手権大会
- 8 ・全日本学生弓道選手権大会
(インカレ)
- 9 ・秋季強化合宿(長野県)
・富山大学・金沢工業大学定期対抗戦
・福井大学・金沢工業大学定期対抗戦
- 10 ・北信越学生弓道選手権大会
- 11 ・秋季県内大学定期対抗戦
・全日本学生弓道王座決定戦
・東西学生弓道選抜対抗試合
- 12
- 1
- 2 ・卒業生納射会
・春季強化合宿(県内)
- 3 ・春季北信越学生弓道大会



己の心と向き合う 基本に忠実な稽古

1984年に金沢女子短期大学弓道同好会として発足、1986年に弓道部へ昇格した。翌年、金沢女子大学弓道部が誕生、1995年、男女共学の金沢学院大学弓道部になった。その後、全日本学生弓道選手権大会(インカレ)で女子団体ベスト8、男子団体ベスト16、個人入賞といった成績を重ねてきた。

弓道は、己の心と戦い、揺れ動く己の心と向き合う武道である。弓道部が目指すものは、中^{あた}りという結果ではなく、射技、体配といった基本動作に常に忠実に弓を引くことにある。どこをどのように修正すれば目標に近づくことができるのか。部員たちは日々、頭を使い、考えることを意識した稽古に取り組む。



自立した弓道人から社会でも通用する人間へ

「基本に正確な弓を引く」という目標に一步でも近づくためには、どんな稽古をすれば達成できるのか、知識や経験、さらには理論をもとに自分たちの頭で考え、みんなで知恵を出し合い、実行に移し、その成果を検証する。その過程で指導者から助言をもらうといった社会に出て求められる力を部活の中で身に付けることが望まれる。

部員には弓道人として、審査受審にもっとチャレンジするよう期待されている。目的を持って継続的に努力することは、社会でも求められることである。合格することで自信を持ち、さらに上を目指す。認許されなければ、どこが通用しなかったのかを反省し、稽古につなげることが大切である。自分の頭で考えたことが正しいかどうか、仲間や先生に尋ねて検証し、前進し続ける。

練習環境

練習場所は学内にある弓道場(六人立ち)です。空き時間を利用し、道場での練習ができます。弓なども十分揃っており、初心者でも安心して始めることができます。



監督
中島 彰史

山梨県立日川高卒、名古屋大卒、同大学院修了。



コーチ
池田 忠明

新潟県立長岡高卒、日本大卒。教士7段、石川県弓道連盟指導部長、公益財団法人日本体育協会公認 上級指導員。



主な戦績

2015

- 春季県内大学定期対抗戦
>> 女子団体優勝
- 全国大学弓道選抜大会
>> 女子団体ベスト16
- 福井大学・金沢工業大学定期対抗戦
>> 男子団体優勝
- 北信越学生弓道選手権大会
>> 女子団体3位
- 秋季県内大学定期対抗戦
>> 男子団体2位、女子団体2位
- 春季北信越学生弓道大会
>> 男子団体4位、女子団体優勝、射道優秀者[男子]

2016

- 春季県内大学定期対抗戦
>> 男子団体優勝、女子団体優勝
- 富山大学・金沢工業大学定期対抗戦
>> 女子団体優勝
- 福井大学・金沢工業大学定期対抗戦
>> 男子団体優勝、女子団体優勝
- 秋季県内大学定期対抗戦
>> 男子団体3位、女子団体3位
- 春季北信越学生弓道大会
>> 射道優秀者[女子]

2016年度卒業生の主な就職先

日本文学専攻 (株)味一番フード	経営ビジネス学科 (株)パロー	スポーツ健康学科 鯖江丹生消防組合
歴史学専攻 JAとなみの	スポーツ健康学科 浪花屋製菓(株)	生活協同組合コープ石川
経営ビジネス学科 マルキ建材(株)	(株)ヨシケイ	食物業学科 (株)ニチダン
(株)エイジエック	(株)サンウェルズ	



MESSAGE 部員からの メッセージ

①



自分に合った引き方で弓道の技術を向上できます
大学生になると自分で考えて射型や競技に対する姿勢を管理する必要があります。師範の先生に指導いただくことで、射型を崩さずレベルアップできる点も魅力の一つだと思います。学生生活に悔いを残さないように何事にも全力で取り組み、やりきったぞという気持ちをもって卒業できるよう今を頑張ります。

小寺 美歌子

美術文化学部・メディアデザイン学科3年
石川県立羽咋工業高校出身

②



「心技」と「攻心」攻めの姿勢で強い射を目指します
今、チームが取り組んでいることは県内・北信越大会優勝、インカレで入賞することです。全国で通用するよう技に磨きをかけていきます。年2回の合宿では普段とは違う先生にも指導して頂けるので、自分の技術をさらに向上できます。専用の弓道場も完備しており、環境が整っている部活だと思います。

山口 航平

経営情報学部・経営システム学科3年
福井県・北陸高校出身

バレーボール部

- 監督/平井 敦夫
- 活動日/月、水、金、土(16:30~19:00)
通常、日曜日は試合 休養日(火、木)
- 活動場所/第一体育館
- 部員数/男12人、女12人(計24人)



VOLLEYBALL

競技成績向上に加え 基本的な生活習慣を

北信越大会10回の優勝と、全日本インカレベスト16入賞の実績を持つ。毎年2月に行われる石川県ウインターリーグでは、女子が2年連続優勝を果たしている。男子と女子が合同で練習を行うことで、連携を図りながら活動する。



監督
平井 敦夫

金沢大学教育学部卒。1975年に金沢女子短大へ着任して以来、バレーボール部の指導に当たる。指導した学生たちは社会に出て活躍し、親子2代の教え子もいる。

部活動では、競技成績を向上させるだけでなく、基本的な生活習慣を身に付けることを大切に、文武両道のバランスのとれた学生生活を送ることを目的とする。

県内外から集まる選手たちは卒業後、地元の有効企業に就職し、競技でも職場でも活躍する。合言葉は「集中・元気・勇気」。「金沢学院大バレー」の確立を目指し、北信越大会の優勝に加えて、全日本インカレでの上位入賞を目指す。



年間スケジュール SCHEDULE

- 4 森田杯北陸三県大学バレーボール春季リーグ戦
- 5 石川県バレーボール祭
春季北信越大学バレーボール選手権大会
- 6 東日本大学バレーボール選手権大会
- 10 秋季北信越大学バレーボール選手権大会
- 11 全日本バレーボール大学男女選手権大会
- 2 石川県ウインターリーグ

一人一人が役割知りチームワークを強固に

選手が成長するために一番重要なのは自分自身である。良い活動をするには、一人一人が役割を知ることが鍵を握る。部員には、きちんとした生活習慣を身に付け、運動をしながら、明るく、礼儀正しく、体も元気に部活動に励むことが望まれている。

特に1年生は、周りが見えず、先輩についていくことで精一杯。学年が進むにつれ部内での自分のポジションを見つけていくことができるようになる。上級生になれば、チームを背負う責任感をもって活躍し、先のことに目を向けられるようになる。自分がリーダーであるのか、フォロワーであるのかを知ることにより、

練習環境

第一体育館を使い、練習時間は男女が協力し、効果的なトレーニングに取り組む。



チームワークが強固なものになる。

部員が後で振り返った時に、有意義だったと思えるような大学生活にすることが願いである。卒業後も一般のクラブチームでバレーボールを続けて地元へ貢献する選手を育てることが目標である。



主な戦績

2015

- 北陸三県リーグ戦 >> 1部4位
- 北信越リーグ戦 >> 1部5位
- 石川県ウインターリーグ >> 女子優勝

2016

- 北陸三県大学バレーボール春季リーグ戦 >> 女子1部4位 男子3部1位
- 春季北信越大学バレーボール大会 >> 女子1部5位 男子3部2位
- 石川県ウインターリーグ >> 女子優勝(2年連続2回目)

MESSAGE

部員からの メッセージ



チームの勝利を考える

大学では自ら責任を持ち、プレーにつなげる主体性が必要です。自由な雰囲気の中で、先輩と結束力あるコンビバレーを目指し、練習を重ねています。男女が連携できるところがバレー部の魅力です。入学した人には、気軽に見学に来てもらいたいです。将来は実業団でバレーを続けていくことを希望しています。

福島 由

人間健康学部・スポーツ健康学科・2年
石川県立金沢商業高校出身

VOICE

マネージャーの つぶやき



バレーを通じて培った力を仕事に生かしたい

選手兼マネージャーとして活動しています。最初はできなかったことも一つ一つ乗り越え、チャレンジする大切さを学びました。地元石川県での就職が決まり、来春から接客業に就きます。大学就職支援センターのサポートは心強かったです。バレー部で培ったマネジメント力を持ち前の明るさで頑張りたいです。

荒井 泰俊

経営情報学部・ビジネス学科・4年
石川県立金沢辰巳丘高校出身

ソフトテニス部

- 監督 / 井籠 敬
- 活動日 / 火・木・(16:30~19:00)、土(10:00~18:00)
休養日(月・水・金・日曜日)
- 活動場所 / 第2体育館前テニスコート
- 部員数 / 男20人、女8人(計28人)



SOFT TENNIS 全日本王座決定戦出場が目標 リーグ戦勝ち抜きへ全力

全日本大学ソフトテニス王座決定戦には男女ともたびたび出場権を獲得してきた伝統を誇る。近年は、北信越学生ソフトテニス大学対抗リーグ戦で男子が1997年から2002年までに5度優勝し、男子個人では03、08年に、女子個人も10、11年にそれぞれ優勝を

果たしている。

現在は、北信越学生ソフトテニス大学対抗リーグ戦で女子が1部、男子が2部で活躍する。しのぎを削るリーグ戦の中で、昨年1部から2部に入れ替えとなった男子も1部復帰に向けて鍛錬を重ねる日々である。男女ともにリーグ戦を勝ち抜き、全日本王座決定戦での活躍を目標として、練習に打ち込んでいる。

監督
井籠 敬

岐阜県立大垣南高、筑波大卒、同大学院修了。筑波大学文部技官(筑波大学軟式庭球部コーチ)、金沢大学准教授(金沢大学ソフトテニス部監督)、金沢学院大学教授(金沢学院大学ソフトテニス部部長・監督)



選手である前に自身のコーチであれ

部員には、日頃から「選手である前に自身のコーチであれ」と説く。ソフトテニス競技のパフォーマンスの向上だけでなく、同じ大学でソフトテニスをする仲間がともに尊敬あい、競技を通じて人間的に成長することが何よりも大切だと考える。

ソフトテニスの競技力を付けるとともに、大学生としてのわきまえのある行動を身に付けるよう努める。周囲への感謝の心を忘れず、自他を尊敬し総合的な人間力を養うことで、社会に求められる人材を目指す。

ソフトテニスが好きなメンバーが自発的に



集まった中で、ともに勝利を目指して互いに刺激し合い、一体感を味わいながら、大学生として文武両道の日々を過ごしている。

練習環境

改修された学内の人工芝テニスコート(第2体育館前)



主な戦績

2015

- 第66回北信越学生ソフトテニス大学対抗リーグ戦大会
>> 男子2部優勝1部昇格

2016

- 第69回北信越学生ソフトテニス大学対抗リーグ戦大会
>> 男子1部5位、女子2部優勝1部昇格
- 第70回北信越学生ソフトテニス大学対抗リーグ戦大会
>> 男子1部5位、女子1部5位
- 第130回北信越学生ソフトテニス選手権大会
>> 男子個人ベスト16島田・柴田組、女子3位南野・北川組、ベスト16瀬戸・服部組



年間スケジュール SCHEDULE

- 4 北信越学生ソフトテニスシングルス大会
- 5 北信越学生ソフトテニス大学対抗リーグ戦大会、選手権大会
- 6 全日本大学ソフトテニス王座決定戦
- 8 全日本大学選手権、学生選手権
- 9 森田杯北信越学生ソフトテニスチーム対抗戦大会
- 10 北信越学生ソフトテニス大学対抗リーグ戦大会、選手権大会
- 11 北信越学生ソフトテニス室内選抜選手権大会

MESSAGE 部員からの メッセージ



個人・団体共に一勝でも多くできるように努力しています。男女ともに北信越学生ソフトテニスリーグの1部優勝、全国大会(王座決定戦)出場を目指して日々練習に取り組んでいます。部員同士とても仲の良い部ですが、馴れ合うことなく、時に厳しく、時に楽しくお互いを高め合うことができるので、人間として成長する場になっています。将来は小さい頃から憧れていた警察官になるために体力づくりを怠らず、勉強面ではKGC講座を受講し夢を叶えるために努力したいと思います。

瀬戸 夢野

文学部・文学科2年
金沢学院東高校(現・金沢学院高校)出身

ゴルフ部

- 監督/井篁 敬
- 活動日/月~金(17:00~19:00)、土・日(14:00~18:00)
休養日(不定期)
- 活動場所/片山津ゴルフ倶楽部、花里ゴルフなど
- 部員数/男8人、女3人(計11人)



GOLF 全国大学ゴルフ対抗戦に初出場 全日本学生選手権出場を目標に

2017年の中部学生ゴルフ春季1・2部大学対抗戦で1部の3位に入り、全国大学ゴルフ対抗戦に初出場した。県アマ、中部アマ、日本アマといった各種大会、プロ参加のオープン競技などでも結果を出している。中部学連1部で優勝し、全日本学生選手権に出場することを目標にしている。

主な戦績

2016

- 石川県アマチュアゴルフ選手権 >> 優勝
- 朝日杯争奪全国学生ゴルフ選手権 >> 出場
- 日本アマチュアゴルフ選手権 >> 出場

監督 井篁 敬

岐阜県立大垣南高、筑波大卒、同大学院修了。筑波大文部技官、金沢大准教授を経て金沢学院大教授。2014年に監督就任。ゴルフ倶楽部金沢リンクス競技委員。中部インタークラブ選手権代表2回。JGA H'Cap Index 9.3(2017.8現在)

コーチ 星野 寛

2009年金沢学院東高(現・金沢学院高)ゴルフ部顧問、10年より石川県ゴルフ協会国体少年男子コーチに就任し、千葉国体で7位入賞をサポートした。14年より同監督。



年間スケジュール SCHEDULE

- 4 ・4月定例会
・中日杯中部学生ゴルフ選手権
- 5 ・東海テレビ杯争奪中部学生ゴルフ選手権
- 6 ・全国大学ゴルフ対抗戦
・CBCテレビ杯争奪中部学生マッチゴルフプレー選手権
- 8 ・中部学生ゴルフ選手権
・日本学生ゴルフ選手権
- 10 ・朝日杯争奪日本学生ゴルフ選手権
- 11 ・会長杯中部学生ゴルフ選手権

硬式テニス部

- 監督/平下 政美
- 活動日/月・水・金(15:00~19:00)
休養日(火・木・土・日曜日)
- 活動場所/金沢学院大学テニスコート
- 部員数/男18人、女4人(計22人)



TENNIS 「全員で予選突破、本戦へ」目標 自主性尊重、コートをも有効活用

「全員で予選突破、本戦出場」を目標に掲げ、一丸となって練習に打ち込んでいる。使用できるコートは2面しかないため、有効に活用しようと、練習内容は自主性を尊重してキャプテンを中心に自分たちで相談して決める。個人の技術力が高く、フレンドリーで明るい雰囲気でも活動している。

主な戦績

2016

- 北信越学生新進テニス選手権大会 >> ダブルス ベスト16
- 北信越学生テニス選手権大会 >> ダブルス 本戦ベスト32
- 北信越学生テニストーナメント大会 >> シングルス 本戦ベスト4
- 北信越学生テニス選手権大会 >> シングルス 本戦ベスト8
- 北信越学生テニス選手権大会 >> ダブルス 本戦ベスト16

監督 平下 政美

石川県立七尾高、金沢大卒、同大学院医学研究科修了。医学博士。金沢学院大教授。部員がやる気を起こすためには実力で勝つ喜びが大切と説き、自ら意思決定をすることを重視した指導に徹する。

コーチ 丸田 豊司

石川県立羽咋高、日本体育大卒。2012年就任。金沢市室内選手権ダブルス優勝2回、同シングルス準優勝、石川県選手権ダブルス3位。個々の練習時間にばらつきがあるため、少人数で集中した練習を心掛ける。



年間スケジュール SCHEDULE

- 4 ・北信越学生テニストーナメント大会
- 8 ・北信越学生テニス選手権大会
- 9 ・北信越学生テニス選手権大会
- 10 ・北信越学生新進テニス選手権大会
- 11 ・北信越学生室内テニス選手権大会
- 12 ・北信越学生室内テニス選手権大会
- 3 ・北信越学生テニストーナメント大会



水泳部

- 監督/山脇 あゆみ
- 活動日/月・水・金(18:30~21:00)
- 活動場所/金沢プール、松任総合運動公園室内プール
- 部員数/男12人、女3人(計15人)



SWIMMING

個々の技量に合わせた練習で 一人一人のスキルアップへ

創部からまだ4年の若いクラブである。「楽しい練習でレベルアップ」をチームの合言葉に、個々の技量に合わせた練習メニューを考案し、一人一人のスキルアップを目指している。

主な戦績

2016

- 石川県マスターズ春季水泳競技大会 >> 出場
- いしかわスポーツ・レクリエーション >> 出場
- 石川県学生選手権水泳競技大会 >> 出場
- 中部学生選手権水泳競技大会 >> 出場
- 石川県マスターズ秋季水泳競技大会 >> 出場
- 石川県マスターズ選手権水泳競技大会 >> 出場

監督
山脇 あゆみ

聖母学院高(現・京都聖母学院高)、京都教育大卒、同大大学院、金沢大大学院修了。1999年日本泳法小堀流初段位取得、同年日本泳法大会支重競技3位。水泳指導歴15年。現在、金沢学院大人間健康学部講師。



陸上部

- 監督/金子 順也
- 活動日/月~金(17:00~19:30)、土(9:30~12:00)
休養日(木・日曜)
- 活動場所/金沢市営陸上競技場、西部緑地公園陸上競技場、大学トレーニング場ほか
- 部員数/男12人、女7人(計19人)



TRACK AND FIELD

「心ひとつに」がチームテーマ 日本インカレ再度出場を目指す

創部から4年目の2007年に北陸陸上競技選手権大会の男子400Mリレーで3位に入り、日本選手権に出場したのをはじめ、2013年にかけて日本学生陸上競技対校選手権大会(日本インカレ)などにも相次いで部員を送り出した伝統を誇る。チームテーマである「心ひとつに」という言葉を大切にしながら、日本インカレへの再度の出場を目指す。

主な戦績

2016

- 北信越学生陸上競技対校選手権大会(北信越インカレ・春)
>> 男子400m7位、
女子砲丸投6位
- 北陸選手権
>> 男子やり投げ8位

監督
金子 順也

金沢高、順天堂大卒。高校でインターハイ、国体の800M、1500M、大学では日本選手権、国体の800Mにそれぞれ出場し、800Mで当時の石川県記録を樹立。学生としての自覚を持ち自律と自立ができる選手の育成に取り組む。



年間スケジュール SCHEDULE

- 4 ・加賀市記録会
・小松市記録会
- 5 ・北信越インカレ(春)
・石川県選手権
・七尾城山記録会
- 7 ・国体県予選会
・能見市ナイター
- 8 ・北日本インカレ
・北陸選手権
- 9 ・七尾城山記録会
・白山市選手権
- 10 ・北信越インカレ(秋)
- 11 ・小松市フェスティバル

《その他の運動部・同好会》

運動部 剣道、軟式野球 **同好会** 空手、卓球、スキー・ボード、フットサル